

府金 陽太

農村地域に笑顔を

総務部 隠岐支庁県土整備局 農村整備課 技師

令和3年度採用

県職員を選んだきっかけ

ふるさと島根をもっと知りたい！

高校在学中、ふるさとである島根のために働きたいと考えていましたが、育ちは安来市、高校は松江市で、東西に長い県内に縁が無く訪れたこともない地域があることに物寂しさを感じていました。インターンやリクルートに参加した際に、働きながら、島根県各地を様々な視点から知ることができるという先輩職員の方々からのアドバイスに魅力を感じ、県職員を選ぶきっかけとなりました。



現在の仕事内容

災害に強い農村地域を造ります！

農業農村整備事業の測量設計業務や工事の監督員を担当しており、現在は主に農道防災対策、ため池改修、地すべり対策といった農村地域の災害未然防止を目的とした業務に携わっています。近年、自然災害が頻発する中、地域の方々が笑顔で安心して生活ができるように、測量設計会社や建設会社の方々はもちろん、関係自治体や地元の方々とも連携を取り、試行錯誤を重ねながら日々の業務に取り組んでいます。

印象に残っているエピソード

農村地域×先端技術

工事の監督員として、GNSSを活用した測量を目の当たりにしたことが特に印象に残っています。GNSSを活用した測量では、計測器を置くだけで位置情報が確認でき、従来複数人で実施していた測量が高精度かつ1人で実施できます。ICT技術に限らず実際の現場から教科書には書いていない知識を習得できたことに喜びを感じています。「3K」のイメージが強い土木工事ではありますが、今後、更なるICT技術の活用により作業環境を改善するなど、土木工事のイメージをひっくり返したいと思っています。



転勤の良いところ

エンジョイ隠岐ライフ！

現在の所属先である、隠岐の魅力を紹介させていただきます。まずは、「食」です。成人男性の拳ほど大きな岩牡蠣や、ブランド牛である隠岐牛、隠岐の酒蔵で造る地酒を楽しむことができます。また、「行事」も盛んです。相撲に牛付き、馬入れ神事や伝統踊りなど、年中どこを取っても飽きません。県職員のネックとして人事異動と答える方もいると思いますが、仕事をとおして地域の人柄、食、伝統などに触れることで、この上ない充実を実感できるため、長期旅行と思えば人事異動はむしろメリットなのかもしれません。